



Vol.4

海洋こども エコクラブと関 わって ～未来に残そう 青い海～

海洋こどもエコクラブ
松本 誠一



「海洋こどもエコクラブ」は「未来に残そう青い海」をスローガンに海の環境を守り、はぐくみ、学習し、海を大切にしている仲間の輪を広げるための活動をする小中学生のクラブです。活動スタッフは、海上保安協会広島支部が指名した海上保安協力員で構成されています。私はその活動スタッフの一員で、いつも広島海上保安部の職員の方と一緒に活動しており、今年で13年目になります。

今日までたくさん子どもたちが活動に参加していただき感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんのお出会いと思いで、感動をどうもありがとう!

ここでは、様々な活動を行っています。海辺(磯や干潟)の生き物観察では毎回発見や驚きがあり、楽しく生き生きしています。何人かの子どもたちが「何回か参加しているけど磯や干潟で見られる生き物には違いがあるんだね」と。

また植林活動では、植える時と終わった後で「一本植えるのにも大変なのに、何百何千と植える人がいるんだよね」「この水が川へ流れて広島湾へ注いでいるんだよね」と。

このように子どもたちと山や海での現場での活動から私たち大人も気付かされたり、学び教わることが多々あります。その一つに「ゴミを拾うことも大切だけど、大人が捨てたゴミをなぜ僕たちが拾わなければならないの!？」と、言われ、考えさせられました。

体験航海での活動では広島湾の元宇品付近や宮島周辺でも水の色の違いも気付いたりしています。実際に透明度盤を使い実感しています。

漂着物調べでは、たくさんの漂着物(人工物)を拾って袋の中へ入れていき、後で分析、集計します。集計の時に、米粒ぐらいの物から子どもたちが拾える大きさの物まであり、分別して数を数えるのも班で協力してまとめてくれます。スタッフの指示や指導もありますが、高学年の子どもたちが主導してやってくれる姿を見ると微笑ましく、嬉しく思っています。毎回集計結果にはみんなびっくりしています。一言「みんなが拾った物はほんの一部ですよ」、すると子どもたちからどんな反応が返ってくると思いますか…。



本当に子どもたちからはたくさんのことを学び教わっています。

これからも海上保安庁の合い言葉である「未来に残そう 青い海」と共に活動を続けさせていただければと思います。